

新春 インタビュー



“歯の健康日本一” 横浜市立中尾小学校



保護者同伴の就学前健診で指導する江口氏

子どもものむし歯 ゼロへ

「健康な歯は未来の自分への贈り物」。全日本学校歯科保健優良校奨励賞を8年連続で受賞し、2年前には文部科学大臣賞に輝いた横浜市立中尾小学校(生徒数約350人)。同校の6年生のDMF歯数は、0.11本で、全国平均を大きく下回り、全校児童の95%にむし歯が一本もない(全国平均は約5割)。同校を歯科保健先進校へと押し上げた背景には、6歳・12歳臼歯に焦点をあて、子どもの特性を踏まえた予防・啓発活動がある。学校・保護者と連携し取り組みを進める、同校の学校歯科医・江口康久万(えぐちやすくま)氏にその特徴や学校歯科医の役割を聞いた。

「お口をアーンして。6歳臼歯が始めていますよ。仕上げ磨きに気をつけてあげてくださいね」。江口氏は保護者に対していねいに説明し、歯ブラシをプレゼンする。「利き腕の肘に反対の手を添えて、歯を磨く動作をしてみよう」と、ひとりひとりにブラッシングでの腕の動かし方もアドバイス。中尾小学校で11月中旬に行う、来春入学の児童を対象にした就学前歯科健康診断の風景だ。

就学前健康診断は全国どこでも行われるが、保護者同伴で歯科医が直接指導に取り組む学校は多くない。この日は1時間半余りで60人を健診し、額には汗が光る。

6歳・12歳臼歯を守れ 校医・江口康久万氏の挑戦

図1 6歳、12歳臼歯の頬側面のむし歯



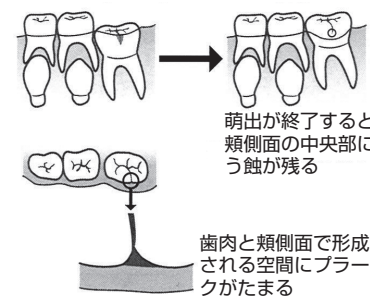
下顎左側第一大臼歯(6歳臼歯)の頬側面溝にレジン修復がされている。下顎左側第二大臼歯(12歳臼歯)の頬側面溝にもむし歯が見られる

取り残された歯

同校では入学後の健診ではワンタフト歯ブラシをプレゼント。保護者の意識を高めるために、ワンタフト歯ブラシの使い方や各自の6歳臼歯の歯みがき状況と萌出状態を記入したプリントも配っている。

同校の校医になって27年目。就任時には児童一人当たりDMF歯数は4本、他校と比べても良好とはいえなかった。その後、全国的に子どものむし歯が減少するなかで、同校の口腔状態も改善していく。その一方で、1カ所だけむし歯が減らない部位があることに気づく。下顎の6歳臼歯第一大臼歯だ。しかも、咬合面だけでなく、磨きやすい頬側面にも生じていた(図1)。「経験的には多く

図2 6歳むし歯の出来方



なりやすいのか。6歳臼歯は半萌出状態の時期に、咬合面や頬側面溝と歯肉の間にプラークが溜まりやすく、磨き残しが多いことにつながる。下顎の割合が高いのは半萌出状態の時期が上顎より長いためと見ている。なお、12歳臼歯(下顎7番)のむし歯も同様の傾向が現れている。

成人期に影響

なぜ、6歳臼歯がむし歯に

同校の校医になって27年目。就任時には児童一人当たりDMF歯数は4本、他校と比べても良好とはいえなかった。その後、全国的に子どものむし歯が減少するなかで、同校の口腔状態も改善していく。その一方で、1カ所だけむし歯が減らない部位があることに気づく。下顎の6歳臼歯第一大臼歯だ。しかも、咬合面だけでなく、磨きやすい頬側面にも生じていた(図1)。「経験的には多く

の歯科医が感じていたこと。子どもに『ていねいに磨きなさい』というだけでは解決しない問題。医療人として原因を明らかにするのが責任だと感じた」と、当時を振り返る。気になると探求せずにはいられない性格。07年に横浜市立6校の小学6年生520人を対象に調査を実施した。その結果は、むし歯のある永久歯の89%を6歳臼歯が占め、そのうち下顎と上顎の割合は7対3だった。子どもたちのむし歯が激減しているにもかかわらず、下顎6番のむし歯率に目立った改善がなかった。「6歳臼歯がむし歯予防から取り残されている。ここを守れば、むし歯はもっと減らせる」。そう確信した。

さらに、下顎第一大臼歯の喪失は、隣接歯の傾斜や咬合歯の挺出につながり、歯周病を有する患者ではその他の臼歯の喪失リスクを高めていることも推測できる。

だからこそ、「半萌出期のケアが大事。6歳、12歳臼歯のむし歯を防ぐことで、生涯に渡って歯を残せる」と力を込める。

(3面に続く)



えぐち・やすくま

1959年、横浜市生まれ。日本矯正歯科学会認定医。医療法人社団恒久会 江口歯科医院理事長 歯学博士。鶴見大学歯学部卒業、東京医科歯科大学歯科矯正学第2講座に入局。88年、横浜市で開業。2014年、全日本学校歯科保健優良校表彰で中尾小学校の最優秀賞受賞に貢献。日本学校歯科医会理事、横浜市歯科医師会学校歯科担当理事などを歴任。現在、鶴見大学非常勤講師、中尾小学校校医、地域の保育園園医などを務める。

今年の子文 西(とり) とは地球上に 8000種も ある鳥類全般をさすので はなく、卵用、肉用、ペットなど家禽としての身近な鶏を指すらしい。食用としての鶏卵は栄養価が高く、長年物価の優等生として他の追随を許さないだけでなく、医用ではワクチクの製造に欠かせない。

鶏は肉食恐竜が進化した鳥の一種かどうか不明だが、桃太郎の家来の日本固有種のキジより役にたつ。弥生時代に大陸から渡来して、日本人とは付き合いが長いから、言辭記録も多い。

「鶏を割くにいくんぞ牛刀を用いん」と故事成語にも使われる。鶏ではないが、「大根を正宗で切る」とか、英語の「へるみを割るのに蒸気ハンマーを使う」と同じ意味だ。

鶏は大したことがないのに、大騒ぎをする。隣国が領海侵犯をしたり、ミサイルで威嚇するからという理由で、世界に誇れる憲法9条を変えようというのもこの類である。

年末年始のお知らせ

協会の年末年始の業務と本紙の発行は次の通りです。
 【休務】 12/29～1/5
 【新聞】 12/25付と1/5付を合併し、1/1付新年号として発行。1/15付は休刊